

令和6年1月24日

交通とまちづくり・地域コミュニティ維持策の協調について考えます。 ～「公共交通シンポジウム」を会場&同時 WEB 配信にて開催～

人口減少や高齢化の進行等により、地方都市では都市の低密度化、空き家の増大等に直面しているほか、地方都市をはじめとする各地の社会経済活動に不可欠な公共交通においては、長期的な利用者の減少や運転手不足等による路線バスの減便・廃止などが発生しています。

その結果、中心市街地の空洞化や限界集落の発生、交通弱者の増加などが課題となっており、このような状況下においては、地域公共交通の維持・活性化策とまちづくり等の地域戦略を一体的に考えることが重要となってきます。

今回の公共交通シンポジウムにおいては、「公共交通と地域の持続可能性」をテーマとして、地域公共交通とまちづくり・コミュニティ維持策等を連携させた取組事例の紹介やパネルディスカッションでの議論を通じて、公共交通の維持・活性化と持続可能な地域社会の構築に向けた今後の取組の方向性等について考えます。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

記

【開催概要】

「令和5年度 公共交通シンポジウム in 九州」

テ ー マ：公共交通と地域の持続可能性

[持続可能な公共交通、そして地域社会の構築に向けて]

～交通とまちづくり・地域コミュニティ維持策の協調～

開 催 日 時：令和6年2月14日（水）13：00～17：05

プログラム：別紙のとおり

参 加 料：無 料

申 込 方 法：九州運輸局ホームページから申込みフォームにアクセス

（右のQRコードでも申込みフォームにアクセスできます）

申 込 締 切：対面参加は令和6年2月8日（木）17時まで

WEB参加は令和6年2月13日（月）正午まで

そ の 他：パンフレットや資料等もホームページに掲載



九州運輸局 HP

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file26-3_00010.html

運輸と観光で九州の元気を創ります

<お問合せ先>

国土交通省 九州運輸局 交通政策部 交通企画課

担 当：榊、本田、柏木

TEL：092-472-2315



九州運輸局

公共交通と地域の持続可能性

【持続可能な公共交通、そして地域社会の構築に向けて

～交通とまちづくり・地域コミュニティ維持策の協調～】

日時・場所

令和6年2月14日（水）13:00～17:05

TKPガーデンシティ博多新幹線口

プレミアムホール

（福岡市博多区博多駅中央街5-14 5階）

参加方法

対面・WEB併用方式

※定員：対面100名・同時WEB配信300名



趣旨

人口減少や高齢化の進行等により、地方都市では都市の低密度化、空き家の増大等に直面しているほか、地方都市をはじめとする各地の社会経済活動に不可欠な公共交通においては、長期的な利用者の減少や運転手不足等による路線バスの減便・廃止などが発生しています。その結果、中心市街地の空洞化や限界集落の発生、交通弱者の増加などが課題となっており、このような状況下においては、地域公共交通の維持・活性化策とまちづくり等の地域戦略を一体的に考えることが重要となってきます。今回の公共交通シンポジウムにおいては、「公共交通と地域の持続可能性」をテーマとして、地域公共交通とまちづくり・コミュニティ維持策等を連携させた取組事例の紹介やパネルディスカッションでの議論を通じて、公共交通の維持・活性化と持続可能な地域社会の構築に向けた今後の取組の方向性等について考えます。

プログラム



- | | | |
|--------|-------------|---|
| 13:00～ | 開会挨拶 | 九州運輸局長 <u>吉永 隆博</u> |
| 13:05～ | 基調講演 | 「 着実な地域公共交通計画の策定・実施に向けてー岩手での経験からー 」
公立大学法人岩手県立大学 総合政策学部 <u>宇佐美 誠史</u> 准教授 |
| 13:45～ | 事例紹介 | 「 熊本市における公共交通とまちづくりの協調 」
熊本市都市建設局交通政策部交通企画課 <u>飯干 修一</u> 課長
「 宗像市における公共交通とまちづくりの協調 」
宗像市都市再生部都市再生課 <u>内田 忠治</u> 課長
「 豊後大野市における公共交通と地域コミュニティとの共創 」
豊後大野市まちづくり推進課 <u>古庄 英之</u> 主幹 |
| 15:15～ | 休憩 | |
| 15:25～ | 共催者挨拶 | （公社）日本都市計画学会九州支部 <u>辰巳 浩</u> 支部長 |
| 15:30～ | パネルディスカッション | |
| | <パネリスト> | ： <u>宇佐美</u> 准教授、 <u>飯干</u> 課長、 <u>内田</u> 課長、 <u>古庄</u> 主幹、
熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター <u>吉城 秀治</u> 准教授
九州地方整備局建政部長 <u>徳元 真一</u> 、九州運輸局交通政策部長 <u>河津 隆幸</u> |
| | <コーディネーター> | ：国立大学法人大分大学 経済学部門 <u>大井 尚司</u> 教授 |
| 17:00～ | 閉会挨拶 | 九州地方整備局建政部長 <u>徳元 真一</u> ※タイトルは変更となる場合があります。 |

【共催】九州運輸局、九州地方整備局
（公社）日本都市計画学会九州支部
【事務局】九州運輸局交通企画課
（TEL:092-472-2315）

申込方法は
こちら

<九州運輸局HP>
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file26-3_00010.html
【申込締切】対面参加：2月8日（木）17時
WEB参加：2月13日（火）正午





宇佐美 誠史氏 公立大学法人岩手県立大学総合政策学部 准教授

1974年生、大阪府寝屋川市出身。1997年福井大学工学部卒業、2002年福井大学大学院工学研究科博士後期課程修了。大阪府立工業高等専門学校講師を経て現職。専門は交通政策。バス交通や自転車交通を中心とした地方都市の交通政策、スマートフォンを活用した公共交通関連データの取得・活用などを研究している。岩手県内自治体の公共交通、都市計画関連会議の会長や委員を歴任。2023年に大学内で「NPO法人イーハトーブ地域情報マネジメント」を立ち上げる。地域公共交通東北仕事人（東北運輸局）。



飯干 修一氏 熊本市都市建設局交通政策部交通企画課 課長

1973年宮崎県五ヶ瀬町生まれ。1997年熊本市役所入庁、交通政策総室主査、技術管理課技術主幹、交通政策課副課長などを経て2022年より現職。熊本市の交通政策全般にわたる企画・調整を担う。現在、アフターコロナや運転士不足などを踏まえ、公共交通利用者の回復を目指した「バス・電車無料の日」の実施や、将来にわたり持続安定的な公共交通体系の構築に向けた取組を進めている。



内田 忠治氏 宗像市都市再生部都市再生課 課長

1973年福岡県宗像市生まれ。1996年宗像市に入所後、水道事業、道路事業、土地区画整理事業（市施行）に携わる。都市計画課で区域区分の変更などの都市計画や開発指導を経験し、「団地再生プロジェクトチーム」を立ち上げ、住宅団地の再生や地域公共交通を研究。現在は、活力あるまちづくりを推進するため、住宅団地のエリアマネジメント構築支援やまちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの再編などに取り組んでいる。2023年9月から福岡県まちづくり専門家に登録。



古庄 英之氏 豊後大野市まちづくり推進課 主幹兼地域振興係長

1972年大分県生まれ。1991年旧緒方町役場入庁。（2005年に旧大野郡5町2村との合併に伴い豊後大野市発足）。2011年度から2014年度及び2020年度から現在まで公共交通の業務に携わる。路線バスをはじめコミュニティバス、あいのりタクシーの確保維持、活性化に向けた交通施策や地域振興事業に取り組んでいる。



吉城 秀治氏 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授

大阪府大阪市出身。2009年岡山大学環境理工学部卒業、2014年岡山大学環境学研究科博士後期課程修了、日本学術振興会特別研究員（DC）、福岡大学工学部助教を経て現職。専門は地域交通計画、歩行者・自転車交通計画、子育てしやすいまちづくりなど。特に近年ではわかりやすいバス路線図のデザインに関する研究に取り組む。熊本県、福岡県下自治体の地域公共交通に関わる協議会のほか、都市・交通に関わる委員会に参画。



大井 尚司氏 大分大学経済学部門 教授

福岡県北九州市出身。1996年熊本大学卒業後、旅行会社勤務を経て2007年神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了、（一財）運輸政策研究機構運輸政策研究所（現・運輸総合研究所）研究員を経て現職。専門は地域交通計画、観光など。九州各地で地域公共交通の確保維持に携わるほか、研修講師等も多数歴任。2010年から地域交通の勉強会「地域と交通をサポートするネットワークin Kyushu（Qサポネット）」を運営（代表）。2023年より国土交通省交通政策審議会委員・社会資本整備審議会臨時委員に就任。

